

100年企業に向けての 事業基盤となるDXの推進と 行動基準となるサステナビリティの推進

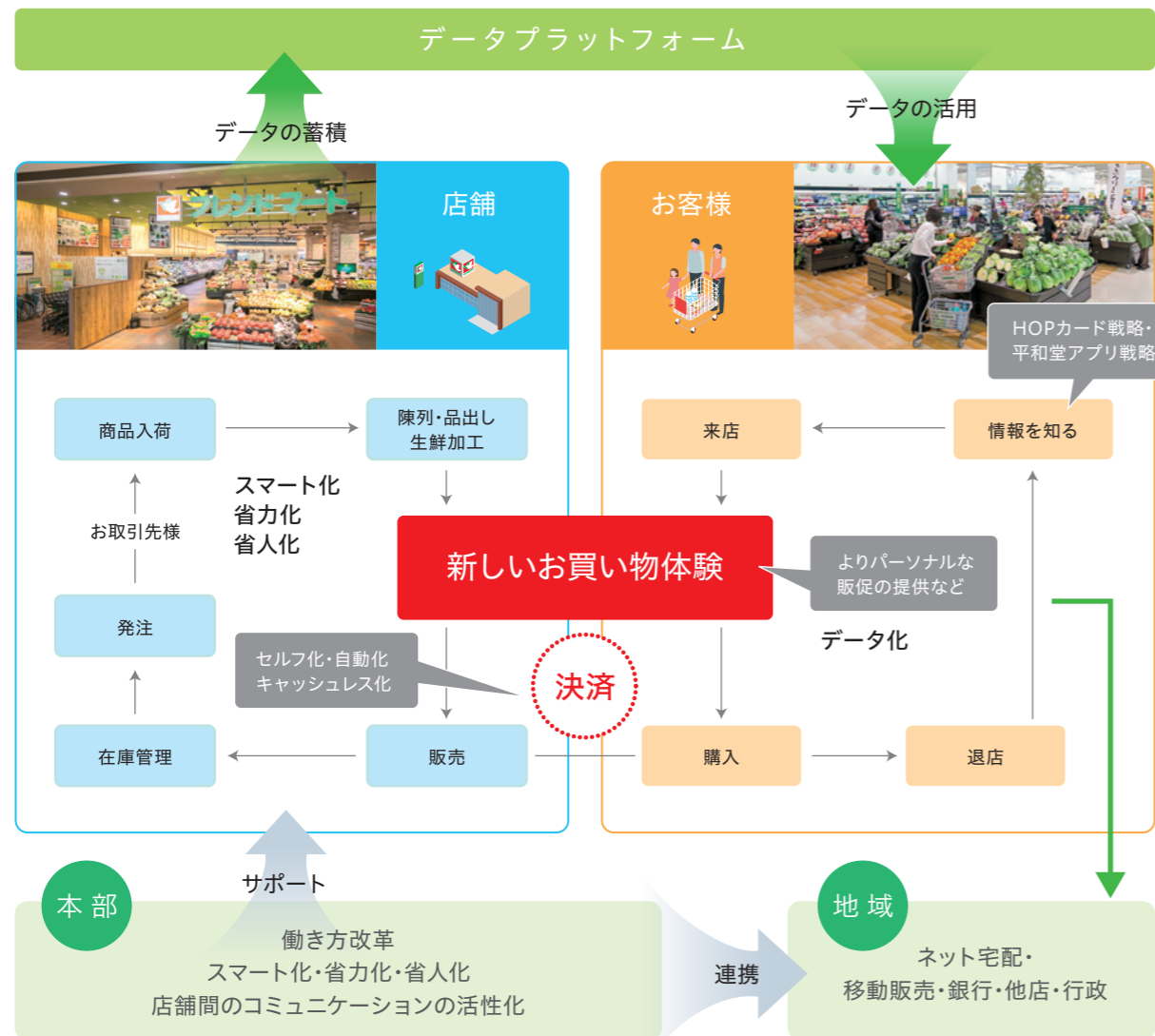


地域密着ライフスタイル総合(創造)企業を目指し、既存事業のさらなる成長と新規事業の創出・成長のため様々な取組みを行ううえで、その基盤となるのはデジタル化(DXの推進)です。

また、企業活動を行いながら地域社会の課題・地球規模の課題解決をはかるため、平和堂が取り組むべきマテリアリティ(重要課題)として「地域循環」「人権」「廃棄物」「温室効果ガス」「商品調達」の5つを特定しています。ここからはその事業基盤と行動基準についてご説明いたします。

平和堂DX ありたい姿

- お客様への新しい買い物体験の提供
- 店舗、本部の生産性向上～業務改革による省力化、省人化の推進～
- データ利活用による新たな価値の発見～データの収集、蓄積、加工と分析、活用～
- つながりの構築～人と人、モノと人、コトと人～



イメージ図

HOPウォレット

チラシやお得なクーポン、限定キャンペーンなどを配信していたこれまでの「平和堂アプリ」に加え、2022年2月、新しい平和堂スマートフォンアプリ「HOPウォレット」が誕生しました。「HOPウォレット」アプリには、HOPマネー機能を搭載し、銀行口座・クレジットカード(一部)からのチャージにも対応しています。コロナ禍の影響もあり、日々高まっているキャッシュレスの非接触型決済のニーズに対応し、よりお客様の利便性を高められるよう注力してまいります。

スマホでお支払い
アプリに表示されるバーコードをレジにてご提示いただくと、アプリでHOPマネー決済ができます。

スマホでチャージ
ご本人様名義の銀行口座(滋賀銀行)かクレジットカード(HOP-VISAカード)をご登録いただくと、アプリでHOPマネーチャージができます。

スマホで残高確認
ホーム画面でいつでもどこでも残高確認ができます。

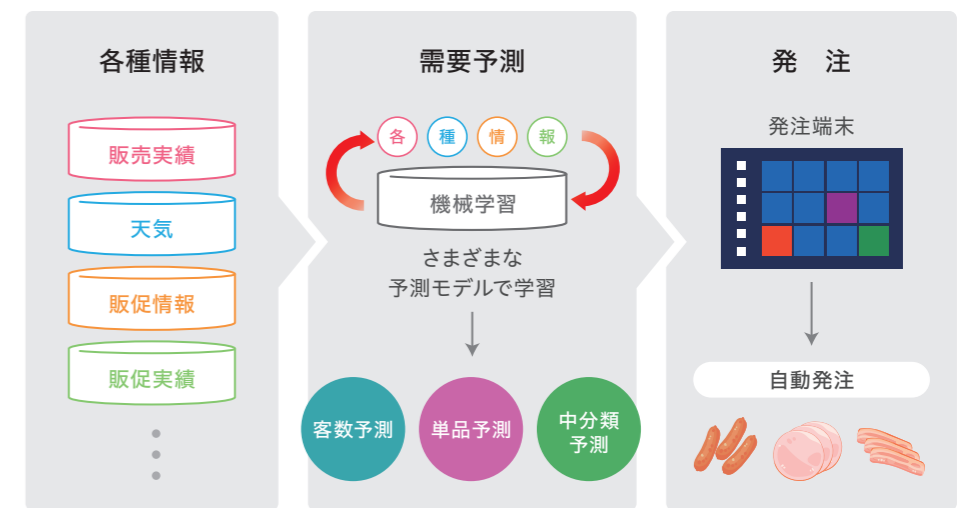


AI自動予測システム

販売に影響を及ぼす情報をAI(需要予測発注システム)に与え、その情報をもとに客数・販売予測を行い、発注数を算出し、自動発注する仕組みを一部商品で全店に導入しました。

期待される効果

- 業務効率化
- 生産性向上
- お客様とのコミュニケーション増加
- 在庫日数の削減
- 廃棄ロスの削減
- 売場実現度向上



RPAツール

データ抽出などの定型的なパソコン業務の処理手順を登録し自動化することで、日常的に行っているルーティン作業にかかる時間を削減するため、2019年度よりRPAを導入しています。

事例 店舗

問題点 釣銭金の店舗会計システムへの入力業務に時間がかかっている(11,836時間/年)

解決策 RPAを活用し、全店舗分を本部での一括入力に変更(△4,240時間/年)

	本部	店舗	本部・店舗両方	削減時間
2019年度	18体		4体	785時間
2020年度	47体	6体	10体	10,432時間
2021年度	33体		3体	3,157時間

- 店舗**
 - データ照合作業や勤怠関連業務の一部をRPAを使うことで、作業時間削減
- 本部**
 - RPAを使うことで定型的なデータ作業にかかる時間を削減



DXの基盤を固め、DXを通じて働き方を変える

- 期待される効果
- 業務効率化
 - 迅速かつ細やかな指示
 - 店舗における効果的かつ効率的な販売活動